

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）アースウォーカーズ事業報告

●どるふいんプレゼンツ 第9回福島の子どもたち宮崎に来んねキャンプ（未就学児対象）

2月23日から3月1日まで行われた今年は新型コロナウイルスの影響もあり、15名・5家族の参加となった。福島では放射線の影響で思いっきり自然に触れることが出来ない子どもたちが立宇津港や平和台公園、白浜海水浴場といった宮崎の海や山の豊かな自然で満面の笑顔で遊んでいる姿が毎日見受けられた。また、お母さん方も普段見せない子どもの表情や成長に嬉しさを感じていた。多くの学生ボランティアとも交流でき、人と人とのつながりも感じられる素晴らしいキャンプとなった。

●福島の子どもたち日帰りリフレッシュプロジェクト（小学生以下対象）

2019年度は、4月6日、5月26日、7月7日、8月25日、9月29日、10月6日、11月16日、2月22日、3月15日、3月29日の計10回実施され、のべ139人の子どもたちが参加した。未就学児、小学生を対象に春から夏は田植えやサクランボ収穫体験、秋には稲刈りやリンゴ収穫、冬は雪遊びなど季節に合わせた外遊びを思いっきり楽しんだ。特に応募が多かったのは7月7日のサクランボ収穫体験で50名の募集に対して80名を超える応募があった。子どもたちが自然に触れて楽しむことで保護者からも「広々したところで友達と遊べて参加してよかった」という声もあった。日帰りで参加できるため多くの子どもたちにリフレッシュしてもらうことができる企画である。

●2019 福島の中中学生ケアンズホームステイ体験プロジェクト in オーストラリア

7月20日から8月1日にかけて12泊13日で行われた。8人の福島県の中中学生が植物園訪問や農業体験を通してオーストラリアの広大な自然や産業と触れ合うとともに、オーストラリアの歴史やエネルギーについて実際に身体で感じながら学ぶことが出来た。中学生からは、「オーストラリアの大自然に実際に触れることが出来、嬉しい限りです」、「人生において大事なことや原発について多くのことを知れたので良かったです」などという感想があり、普段は経験できない多くのことを吸収できた。

●福島を伝え、再生可能エネルギーを学ぶ 2019 福島・ドイツ高校生交流プロジェクト

福島の現状をドイツで報告し、現地の高校生との交流を通じて国際的な感覚やドイツのエネルギー政策を学ぶというプロジェクトで、2019年は8月3日から8月17日において高校生8人が参加した。天然ガス発電所や再生可能エネルギーを開発している企業への訪問を通して再生可能エネルギーを普及させるためにはどうすればよいか、また、現地の高校の授業への参加や英語でのスピーチを通して自分の意見を伝えることの大切さを実感した。高校生自身が自らの成長を実感し、「この経験を日本で伝えていきたい」という声も多く、今後の彼らの活躍が期待される良いプロジェクトとなった。

そして、参加した高校生たちは帰国後日本各地で開催された報告会でこのプロジェクトについて学んだことや変化した自分自身の意見を述べた。

9月22・23日：福島県 高校生未来サミット 21人参加

10月20日：福島県福島市 安西果樹園でのガーデンマルシェでドイツプロジェクトの展示

10月26日：島根県松江市

10月30・31日：福島県郡山市 第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェアに参加

11月2～4日：東京 ドイツフェスティバルに参加しワークショップスペースでドイツプロジェクトの報告

11月30日：山梨県韮崎市

12月1日：長野県伊那市 約40人参加

12月7日：愛知県名古屋市

12月8日：岐阜県岐阜市

1月5日：福岡県嘉穂郡桂川町

1月6日：福岡県福岡市

1月6日：宮崎大学

1月7日：宮崎県小林市

1月8日：宮崎県宮崎市

1月11日：岡山県岡山市 約50人参加

1月12日：大阪府東大阪市 約35人参加

1月18日：福岡県北九州市小倉 113人参加

1月18日：佐賀県神崎市

1月25日：福島県郡山市

2月1日：大阪府河内長野市

2月2日：大阪府大阪市

2月9日：北海道札幌市

●台風19号支援活動

10月16日に宮城県伊具郡丸森町にて、10月19・20日に福島県須賀川市にて台風19号の支援活動を行った。丸森町では避難所等で給水のサポート、須賀川市では被災した方の家の片づけを手伝った。須賀川市には2019年のドイツプロジェクトに参加した高校生も参加し、農家の段ボール整理や拭き掃除を行い、被災された方へ直接的に支援することが出来た。

2019年度のアースウォーカーズの企画にのべ172人の子どもたちが参加し、東日本大震災の2011年から累計でのべ1454人となった。